

CRK-MCVエジェクタ取扱説明

この度は、CRK-MCVエジェクタをお買い上げいただきありがとうございます。
今後ともなにとぞよろしくご愛顧の程お願い申し上げます。
ご使用前に取扱説明書を必ずご一読ください。又、本書は大切に保管してください。



- ここに記した注意事項は、当社製品を安全に正しくお使いいただき、人身への危害や損害を未然に防止するためのものです。
 - 注意事項は、取り扱いを誤った場合に生じる人身への危害や財産への損害の大きさや切迫の程度を表示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。
 - いずれも安全に関する重要な内容ですから、必ず守って下さい。
- ⚠ **危険:** 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
- ⚠ **警告:** 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合。
- ⚠ **注意:** 取り扱いを誤った場合、人が障害を負う危険が生じることが想定される場合。および物的損害のみの発生が想定される場合。

設計時・選定時

⚠ 注意

- 1台のエジェクタに2個以上の真空パッドを接続する場合は、1個の真空パッドからワークが離脱すると他の真空パッドからも離脱します。
- 1個の真空パッドからワークが離脱することで真空圧力が低下し、他の真空パッドからもワークが離脱しますので、落下防止機構を設けるなどの安全対策を施してください。
- 真空配管において、エジェクタと分岐箇所間の配管は、分岐箇所とバキュームパッド間の配管よりも太くして下さい。
- エアフィルタを取り付けてください。エアフィルタには、ろ過度 $5\mu\text{m}$ 以下のものを使用してください。
- エアドライヤを設置してください。ドレンを多量に含んだ圧縮空気は、真空機器の動作不良の原因となります。
- エアドライヤを設置して湿度を下げ、ドレンの発生を減少させてください。
- スラッジ対策を施してください。空気圧機器にコンプレッサオイルの劣化物(スラッジ)が混入すると、動作不良の原因となります。スラッジフィルタやミストクリーナを設置して、機器にスラッジが流入することを防止してください。
- 無給油で使用してください。エジェクタに供給する空気に、エアルブリケータを用いて給油すると、エジェクタのノズルおよびディフューザに油が付着し、真空低下の原因になります。
- 低温下での使用について。 5°C 以下で使用する場合、圧縮空気中のドレン、水分などが固体化または凍結しないように、エアドライヤを設置するなどの対策を施してください。

取付け

⚠ 警告

- 固定部や連結部がゆるまない様な取付けをしてください。取付け強度が不十分ですとエジェクタが外れることがあります。
- 機器が適正に作動することを確認するまで、起動しないでください。取付け後、圧縮空気や電源を接続して適正な機能検査および漏れ検査を行い、正しく取り付けられ、安全かつ確実に作動することを確認してから、システムを起動して下さい。
- 保守点検に必要なスペースを確保して下さい。

⚠ 注意

- 銘板などの型式表示部を有機溶剤などで拭き取らないでください。表示が消える原因になります。
- 各種取付けねじを締付ける際は、以下の締付けトルクで行ってください。
 $M2: 0.07(\text{N}\cdot\text{m})$ 、 $M2.5: 0.16(\text{N}\cdot\text{m})$ 、 $M3: 0.59(\text{N}\cdot\text{m})$ 、 $M4: 1.37(\text{N}\cdot\text{m})$ 、 $M5: 2.84(\text{N}\cdot\text{m})$

配管

⚠ 注意

- スパイラル配管はしないでください。真空ラインにスパイラル配管を使用しますと、配管抵抗により真空到達時間の遅れや流量低下によって吸着端の真空圧力低下や真空センサの誤動作の原因となります。
- 誤配管をしないでください。各機器に配管する場合は、カタログなどを参照して、圧縮空気の供給ポートと真空側のポートを間違えない様に配管してください。又、締付けトルク範囲内で行ってください。 $(M5: 1.0\sim 1.5(\text{N}\cdot\text{m})$ 、 $Rc1/8: 5.0\sim 7.0(\text{N}\cdot\text{m})$ 、 $Rc1/4: 7.0\sim 9.0(\text{N}\cdot\text{m})$)
- 真空パッド接続側(Vポート): 配管が細すぎたり、長すぎたりした時にエジェクタ内の真空圧力が高くなり、真空センサがONしたままになります。配管径を太くしたり、配管長さを短くしてください。
- 継手は静止配管を基本としていますので、チューブが移動するような使い方や、引張り力が発生するような使用方法では、チューブの伸びや継手からのチューブ抜け、又はエアー漏れの原因になります。

⚠ 保守点検

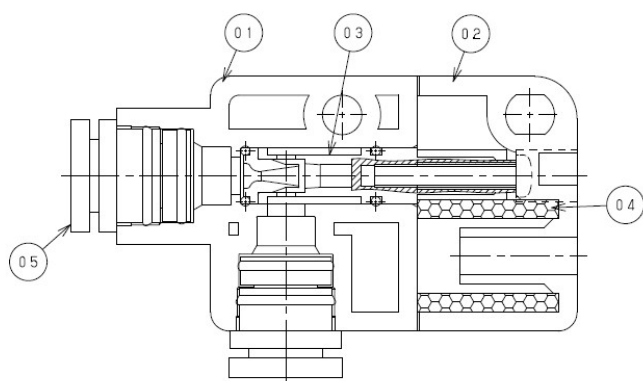
注意

- 空気の質を維持する為に、エアフィルタのドレン抜きを定期的 to 実施してください。
- サイレンサエレメントを交換する場合は必ず電源やエアを切ってから行ってください。

仕様

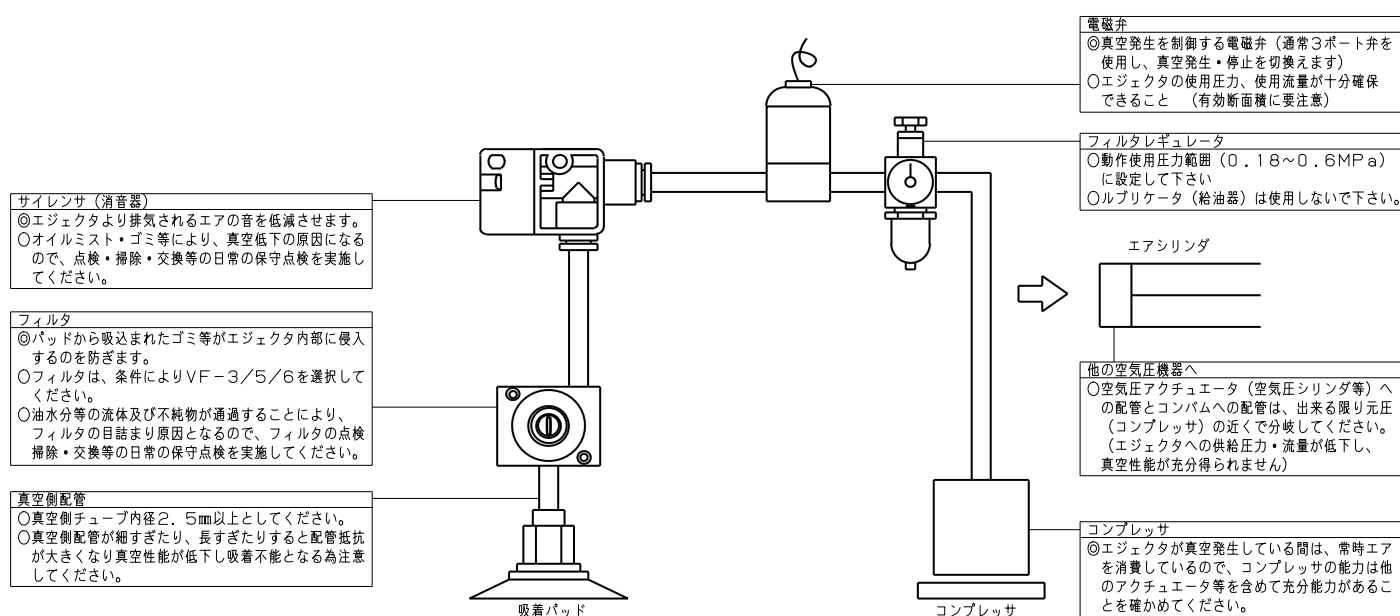
項目	単位	CRK-MCV-10HS
仕様流体		無給油圧縮空気
周囲温度	$^{\circ}\text{C}$	$0\sim 60$ (但し、凍結無き事)
仕様圧力範囲	MPa	$0.2\sim 0.5$
ノズル径	mm	1.0
定格圧力	MPa	0.5
吸込流量	L/min(ANR)	22
到達真空圧力	kPa	-90
空気消費流量	L/min(ANR)	57
騒音値	dB	72
質量	g	22

構造図



部番	部品名称	材質
01	ボディ	PA
02	サイレンサケース	PA
03	ノズルキット	アルミニウム,NBR
04	サイレンサエレメント	PVA
05	継手	-

使用説明(機能、注意事項)



コンバム株式会社

ホームページ <http://www.convum.co.jp>

E-mail faq@convum.co.jp

カスタマーサポートセンター

0120-498586

0120-415641

MANUAL No. CRK-000-M008B